

あんなことこんなこと ひろい読み

1349  
VOL.

# PICKUP J

J 建築システム株式会社  
企画開発室

TEL. 011(573)7779 FAX. 011(573)7811

【速読】未踏への一步

## 第41回 Airシエルトー建具と家具

手塚 純一 J 建築システム株式会社  
理事長 建築・インテリア・設計

弊社の住まい手の安全を守るアイデア「Airバック」、脱出スライダール・シエルトーは人の命を守る「装置」で、安全を求める社会生活には、欠かせないものとなっている。これは、特定のシートにより様々な型に形成され、空気を導入することで用途に応じ、大小のマットとなる仕組みだ。

大地震で建物が揺れ、大きな変形により構造躯体が崩壊。内部では、仕上げ材の脱落や家具が、倒れたり、食器類が飛び散る。その瞬間、身動きできなく、思考が止まりつつ、どう対処したら良いのか。しかし、考えている暇はない。

さて、冷静に熟考中、あることに気が付いた。車社会に不可欠な「Airバック」、もし、住まいにもAirバックがあつたら。前号で述べた室内の天井や床の隅で、日常の邪魔にならない箇所にバルーンBoxを忍び込ませておく。特殊なセンサーによりAirバック的な「バルーン」を起動、その空間に様々な形状で飛び出させ、入居者をクッションのように包込み、保護するシステムである。

## 曲がる太陽電池 積極投資

キャノンが薄く曲がるペロブスカイト型太陽電池の耐用年数を2倍の20〜30年に延ばせる素材を開発した。ENEOSホールディングス(HD)は主原料となるヨウ素の生産能力を2倍に増やす。ペロブスカイト型は中国が量産化で先行し、特許出願も増やしている。政府の支援を受け、高品質な国産品を低コストで生産できるようにして国際競争力を高める。

## キャノン、劣化を防ぐ素材 ENEOSは主原料増産

「曲がる太陽電池」と呼ばれるペロブスカイト型は日本発の技術で量産化への取り組みが進んでいる。現在普及する太陽光パネルは国土の狭い日本で設置余地が限られるうえ、中国からの調達依存度が高いという課題を抱える。

## 空き家流通ビジネス 支援

国交省 仲介手数料の上限上げ

6/21 日本経済新聞より

## YKKAPが7月から、LIXILは来年 大手メーカーが木製窓参入

大手サッシメーカーが相次いで木製サッシ市場に参入する。YKK AP(株)が来月から大開口スライディングサッシ「APW651」を発売、(株)LIXILも来年に引き違いタイプの木製サッシを発売すると発表した。両社とも、国産木材を使ったアルミクラッドタイプの製品。

## 建具・家具の セット

最近、止まぬ大地震の影響で、防災の呼び声が各地から高まっている。建物の耐震化は、国を挙げての耐震等級3へのレベルアップで、そのための設計評価として許容応力度計算の必要性をアナウン

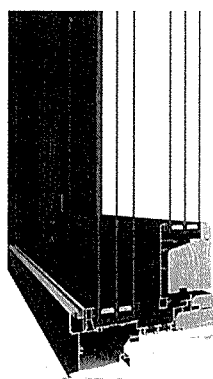
スしてきた。その折、建物内部の超耐震化として「部分シエルトー」の提案を行ってきたが、安全確保を進展的に追求した場合、一歩先の住居の在り方が見えてきた。大地震に遭遇した瞬間、身体が動けなくなる。こうした場合、住居内に置かれていた家具が倒れ、挟まれるという事実はどう対処するかを議論し、あるべき結論を得た。

分は露出で、とても安全とは言えない。シエルトーのあるべき姿 これからの建築は、家全体の耐震性を高めるとともに「命を守る」部分スペースの確保が重要となる。そのためには近未来のシステムとして「Air」を用いたシエルトー及び家具に取り付けた器具が必要と考え、概要を述べた。

また、どこに避難するかではなく、その空間が十分安全であるための機能性が入居者の希求として第一優先事項。残念な事実だが、TVを通じて、学校の避難訓練で、児童らは、簡易ヘルメットをかぶり、机の下に頭を差し込む。しかし、頭を隠しても身体の一部は露出で、とても安全とは言えない。

また、どこに避難するかではなく、その空間が十分安全であるための機能性が入居者の希求として第一優先事項。残念な事実だが、TVを通じて、学校の避難訓練で、児童らは、簡易ヘルメットをかぶり、机の下に頭を差し込む。しかし、頭を隠しても身体の一部は露出で、とても安全とは言えない。

また、どこに避難するかではなく、その空間が十分安全であるための機能性が入居者の希求として第一優先事項。残念な事実だが、TVを通じて、学校の避難訓練で、児童らは、簡易ヘルメットをかぶり、机の下に頭を差し込む。しかし、頭を隠しても身体の一部は露出で、とても安全とは言えない。



APW651 を室外側から見た断面図

## 太陽誘電

佐瀬社長

生成AI(人工知能)の普及を背景に世界のデータセンター市場が拡大している。電気の流れを整える積層セラミックコンデンサー(MLCC)の需要が先端分野で増す。

## MLCC

4/17 日本経済新聞より

構造関係規定や4号特例の見直し、省エネ基準全面義務化など、住宅会社の家づくりや業務に大きく関わってくる建築物省エネ法・建築基準法の改正まで10カ月を切った。5月末には構造関係規定などで見直しとなる内容の一部の告示や、施行日前後の建築確認の取り扱いに関する技術的助言が出るなど、国も着々と準備を進めている。

## やさしい 経済学

## マンション管理の課題 ⑤

明海大学教授 小杉 学

## 過度な依存が生む悲劇

マンションを適切に管理する上で、管理業者は欠かせない存在です。しかし、管理業者に不満を感じている管理組合も一定割合存在します。国土交通省のマンション総合調査(2018年度)では、管理組合の約20%が管理業者を変更していましたが、筆者らの調査で管理業者への不満として挙げられるのは、①不要不急の工事費を膨張させること、②子どもたちに覆い被さるような形で守ってくれる。また大小さまざまな多様化できることから、地震のシミュレーションにより崩壊モードを評価して適正形状やあるべき方向の実用を求める。実用には安価なシステムでなければならぬ。そのためには低コストをスローガンにして、製造でAIを駆使し、汎用性の高いセンサーと連動させる。これにより、商品化の広がりが期待できよう。

下げや契約外業務の要求をサービスとして受け入れてきたのです。この時代に、「やってもらった当たり前」という考えが多くの管理組合に定着し、管理業者が過度に依存する体質ができました。その結果、理事会や総会で管理業者が準備した議案が検討もされず採択されるなど、管理組合の主体性が失われたのです。一方、委託費の値下げで利益が得られなくなった管理業者は、大規模修繕工事の受注で利益を確保しようと考えます。主体性が失われた依存体質の管理組合が利益収奪の「カモ」となる問題も起きました。

## 5年で 36万戸増

## 長く空き家放置 周辺3.9兆円損失

6/16 日本経済新聞より



Aihツェーの向合せぬある  
11と11の時、人の高たれおた  
命を失うと11の時、人の高たれおた  
②部分ツェーの向合せぬある  
Aihツェーは東京の空を飛ぶ、飛行機は必ず条件  
212と974と4、それを高たれおた、飛行機は必ず条件  
進化の車と安全対策。住宅もその時  
何と211と2とある。

- ① 急速に拡大する第三者管理
- ② 理事会を設置しない選択
- ③ つながりが生む統治能力